

開講日	2022年春期 火曜日 18:30-20:00	講義場所	Web (Zoom)配信 + 録画配信 (対面講義は行いません)
コースディレクター	名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学分野 教授 中村 敦		

科目概要および期待される成果	<p>【概要】2019年末から出現した新型コロナウイルス感染症はまたたくまに世界中を席卷し、100年に一度といわれるような大規模なパンデミックへと拡大しました。日本国内でも第1波から第6波までの波を迎える度に、その対応に苦慮しています。しかし病原体の性質、病原性、伝播性によって対応に相応の振れ幅はあるものの、感染症に対するアプローチの根幹は変わりません。本講座では、日頃より感染症診療、感染管理に関わっているさまざまな職種 の専門家により、皆さんに是非知っておいて頂きたい感染症の基本から最新情報までを提供します。</p> <p>【期待される成果】感染症に関する基本的知識に加え、最新の情報や現在抱えているさまざまな問題を学ぶことにより、安心・安全で質の高い医療を提供できることを目指します。</p>
目標とする資格	ICD制度協議会: インфекションコントロールドクター, 日本感染症学会感染症専門医, 日本化学療法学会: 抗菌化学療法認定医/指導医・認定歯科医師/指導医・認定薬剤師, 日本看護協会: 感染管理認定看護師, 日本病院薬剤師会: 感染制御認定薬剤師, 日本臨床微生物学会感染制御認定臨床微生物検査技師 (ICMT)

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
L-1	1	感染症ってどうやって診断するの？	細菌感染・ウイルス感染など、さまざまな感染症がありますが、発熱などのさまざまな症状から、感染症と他疾患との鑑別、感染症の診断に至るまでについてのお話をします。	4月5日	講師 田中 創始 名古屋市立大学病院 総合内科・総合診療科
L-2	2	知っておきたい感染症治療薬	感染症治療薬は、適正に投与することが重要です。COVID-19に対する治療薬も含めて、感染症治療薬の「基本的知識」から「実際にどう使うか」まで、わかりやすくお話しします。	4月12日	薬剤師 近藤 祐樹 名古屋市立大学病院 薬剤部
L-3	3	細菌の基本	感染症は様々な病原微生物によって引き起こされます。病原微生物の中の細菌について詳細に講義します。構造、特性、種類などの基本的なことや、どのような感染症を引き起こすのかについて言及したいと思います。	4月19日	教授 長谷川 忠男 名古屋市立大学大学院医学研究科 細菌学
L-4	4	感染対策の基本	新型コロナウイルス感染症の流行により、手指衛生やマスクの着用等は誰もがあたり前に実行するようになりました。今回、当院での実践を紹介しながら「標準予防策」の重要性について一緒に再確認したいと思います。	4月26日	副室長 小川 綾花 名古屋市立大学病院 感染制御室
L-5	5	呼吸器感染症 Up-to-date	臓器別感染症の中で呼吸器感染症はもっとも頻度の高いものです。新型コロナウイルスなどのウイルス性疾患や肺炎球菌などの細菌や結核、真菌など原因微生物は多岐にわたります。新型コロナウイルス感染症の最新情報も含めてお話しします。	5月10日	准教授 伊藤 穰 名古屋市立大学病院 呼吸器・アレルギー内科
L-6	6	災害時に注意が必要な感染症	災害には日頃の備えが重要と言われていますが、感染症も同様です。災害時に災害現場や避難所で注意が必要な感染症と平時からできる予防についてお話しします。	5月17日	救命救急センター長 松嶋 麻子 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター
L-7	7	輸入感染症	海外から輸入される感染症には、寄生虫のように感染が個人に限定されるものから、COVID-19のようにパンデミックとなる疾患があります。個人を守るため、また社会を守るために何が必要か、皆様とともに考えたいと思います。	5月24日	部長 長谷川 千尋 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 感染症科
L-8	8	腹腔内感染症 -どんな時に手術するの？-	虫垂炎や胆囊炎に代表される腹腔内感染症の、どうやって治療するか、どういうときに手術するか、をご紹介します。	5月31日	部長 若杉 健弘 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 消化器外科
L-9	9	尿路感染症・性感染症 Up-to-date	尿路感染症は日常診療で最もよく遭遇する感染症の一つです。また、近年増加している梅毒などをはじめとして、性感染症は人類にとってもまだに対策が必要な感染症の一つです。本講義では、これらの疾患における診断や治療について紹介します。	6月7日	講師 恵谷 俊紀 名古屋市立大学病院 泌尿器科
L-10	10	重症感染症患者の管理	敗血症の管理についてお話しします。敗血症では、感染をきたした臓器以外の多臓器にも障害が及ぶことが多く、死亡率も高いです。もちろん、適切な抗菌薬の投与が最も重要な治療ですが、循環、呼吸、腎臓、脳、代謝内分分泌など多臓器に渡ってサポートする治療が必要となります。	6月14日	副部長 田村 哲也 名古屋市立大学病院 集中治療部
L-11	11	周術期患者の感染管理	術前のCOVID-19感染症スクリーニングから、術前・術中の感染予防、術後SSI等への対応を含めた周術期管理をレビューします。	6月21日	助教 柳田 剛 名古屋市立大学病院 消化器・一般外科
L-12	12	アウトブレイク対応	アウトブレイク対応は感染の専門的知識と多職種による組織的な対応が不可欠です。定義から始まり、起こった時の対応の手順、データ収集方法など基本的な手法についてお話しします。	6月28日	感染管理認定看護師 田上 由紀子 名古屋市立大学病院 感染制御室
L-13	13	感染症診療支援における微生物検査技師の役割	早期に病原性微生物の検出・特定を行うことは、感染症診療支援においては必須であり重要です。これらの情報の発信源ともなる微生物検査技師の役割と、多様化する耐性菌・院内感染原因菌の検出検査方法までをお話しします。	7月5日	微生物検査係長 近藤 周平 名古屋市立大学病院 感染制御室/診療技術部 臨床検査技術科
L-14	14	感染症診療支援における薬剤師の役割	抗菌薬、上手に使えていますか？抗菌薬は病原菌を壊したり、増えるのを抑える一方で、耐性菌を増やす一因にもなります。抗菌薬適正使用における薬剤師の役割について、当院のAST・ICT活動を紹介します。	7月12日	感染制御専門薬剤師 和知野 千春 名古屋市立大学病院 感染制御室/薬剤部
L-15& D-1	15	その他のホットな話題と本講座の総括	L1~L14で触れられていない最新の話題を提供するとともに、本講座で学習した内容について、習得度を点検しましょう。	7月19日	室長 中村 敦 名古屋市立大学病院 感染制御室